

2019年 4月 28日

助成事業実施報告書

団体名 チャイルドラインたちかわ

代表者・役職名 氏名 山中ゆう子



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子どもの電話から見えてくる子どもの現状を知り、子どもの心に寄り添って話を聴ける大人を増やす

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2003年12月 立川市の子どもの権利を考える市民委員会主催の「子どもの権利って何？」山梨学院大学教授 荒牧重人氏の講演を聴いた有志が直接子どもの声を聴きたいと「チャイルドラインたちかわ」準備会を立ち上げた。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

児童虐待やいじめなど、また格差や貧困問題など子どもにとって生きづらい社会となっている。核家族化や地域間のつながりの希薄さが、親や保護者を通じてしか大人や社会と交われなくなっている昨今、子どもが持つ不安や悩み、嬉しいことなど「気持ちに寄り添って聴き、一緒に考えてくれる大人」がいることが必要と考える。話したい時にいつでも話せるツールの一つとして無料で話せる電話やインターネットでのオンラインが子どもたちに求められている。大人にこの現状を知ってもらい大人として何ができるか参加者と一緒に考え、子どもの思いを受け止めることができる大人が一人でも多く増えることを期待する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2006年から常設電話を開設(毎週日曜日午後3時~8時)し電話の受け手3名 サポート1名 計4名体制で毎週実施している。2018年度は 52日間開設、総着信数 984件。会話が成立したのは 458件。電話を通して見えてくる子どもの状況や課題を市民と共に考える公開講座を開催した。2018年度は市民向け公開講座、兼受け手のスキルアップ研修として、①「思春期の子どもの心」講師は東京都公立学校スクールカウンセラー。②「いじめについて」講師はストップいじめ！ナビ副代表理事。③「子どもにやさしいまちづくり」講師は子ども権利条約総合研究所代表。④「オンライン相談について」講師はチャイルドライン支援センター理事。⑤「子どもの権利を知ろう」講師は立川市夢育て・たちかわ21プラン推進会議副会長

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2018年度の市民公開講座で、①～⑤まで合計参加者 62名。この講座は受け手(会員)のスキルアップ研修を兼ねて行なった。

②「思春期の子どもたちの心」～小・中・高校のスクールカウンセラーの現場から～ 参加 9名

③「これって いじめ？」～いじめが始まる時、その現状～ 参加 19名

④「地域コミュニティづくりと子ども」～「子どもにやさしいまち」へ～ 参加 8名

⑤「子どもの声を様々なツールで聴く」～オンライン相談の現状とこんごの展望～ 参加 10名

⑥「子どもともっと上手に関わりたい！と知っているあなたへ

～今さら聞けない「子どもの権利」を知ろう！～ 参加 16名

成果を数字で表すことは難しいが、公開講座で「子どもの心に寄り添って話を聴く」ことに関心、興味をもつ大人を増やすためのアクションは必要である。継続することに意味があると考え。子ども達が電話よりも、SNSを使用するといわれている。オンライン相談実施の可能性を検討するきっかけができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

2018年は、チャイルドラインたちかわのフェイスブックを開設して広報に努めた。しかし、もっと参加人数を増やす工夫が必要である。学校のPTAの研修として呼びかける、子どもの教育学部の学生などにお知らせをするなど、参加者増をめざしたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

子どもと上手に関わりたい！ と思っているあなたへ

～今さら聞けない「子どもの権利」を知ろう！～

「子どもを叩かないで、声を荒げないで子育てしたい！」「思春期になった息子が話をしてくれない」「今時のJK、何を考えているのかわからない」「どうしたら子どもの本音が聞けるの？」「親として自信が持てない…」そんな悩みを抱えていませんか？

赤ちゃんがオギャーと生まれた瞬間から子どもには権利がある。それってホント？子どもの権利ってなあに？子どもの権利の「基本のき」を知り、関わりの中で生かすことで、子どももおとなも、もっと楽に生きやすくなれるはず…。

子ども学、子どもの権利等がご専門、全国で子ども参加や子ども支援の活動にも取り組まれており、家庭ではたぬちゃん(中二)とらちゃん(小6)ぺんちゃん(小3)のお母さんとして子育て真っ最中の安部芳絵さんにお話を伺います。

●日時：2019年 3月10日(日)

午前10時～正午



●場所：立川市 子ども未来センター 201&202会議室

●講師：安部 芳絵さん (工学院大学准教授)

立川市夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議副会長

●定員：先着 30名

●参加費：500円(当日会場でお支払下さい)

●申し込み：お名前・ご連絡先を明記し、下記いずれかの方法でお申し込みください。

1歳以上のお子様保育有り(若干名)、希望者は申込時に月齢、名前をお知らせください。

FAX：042-531-5927 宛 メール：cl.tachikawa@gmail.com 宛

※いただいた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。

●主催：チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)

※チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となってかける子ども専用電話です。全国40都道府県の70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。

思春期の子どもたちの心

～小・中・高校のスクールカウンセラーの現場から～

思春期は第2次性徴の出現によって引き起こされる生物学的な側面であり、身体は大人へと急速に近づいていきます。身体は大人へと近づいていくけれども、心は子どもと大人のはざままで不安定になりやすい時期です。

そういった子どもたちの心の特徴について、学校内で子どもや保護者の相談にのっているのがスクールカウンセラーです。今回は、スクールカウンセラーの山本佳奈さんに今の子どもたちの心の特徴についてお話を伺います。

・日時：2018年10月14日(日)



午後1時～3時

・会場：立川市 子ども未来センター 地階 多目的室

・講師：山本 佳奈さん(東京都公立学校スクールカウンセラー)

・対象：このテーマに関心のある方ならどなたでも。

・定員：先着30名(定員になり次第締切)

・参加費：500円(当日会場でお支払ください。)

・お申し込み：9月1日から受付開始

講座名、お名前、ご連絡先を明記し、下記いずれかの方法でお申し込みください。

FAXで 042-531-5927 (チャイルドラインたちかわ宛て)

またはGメール：cl.tachikawa@gmail.com 宛てにどうぞ

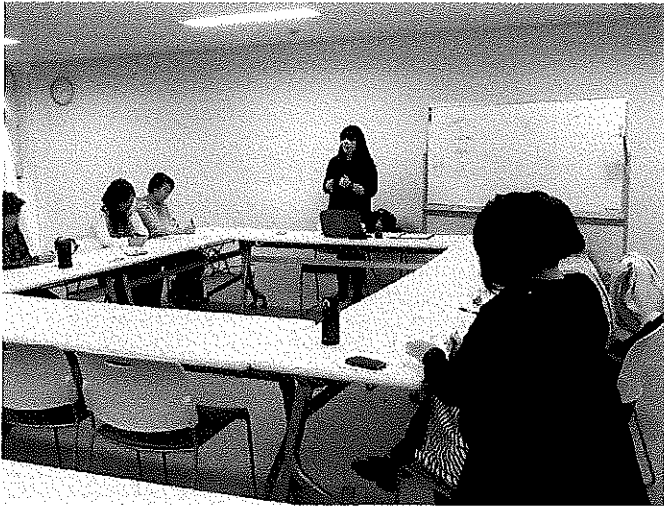
※戴いた個人情報はこの講座に伴う連絡以外には使用いたしません。

●主催：チャイルドラインたちかわ (真如苑 Shinjo プロジェクト助成事業)

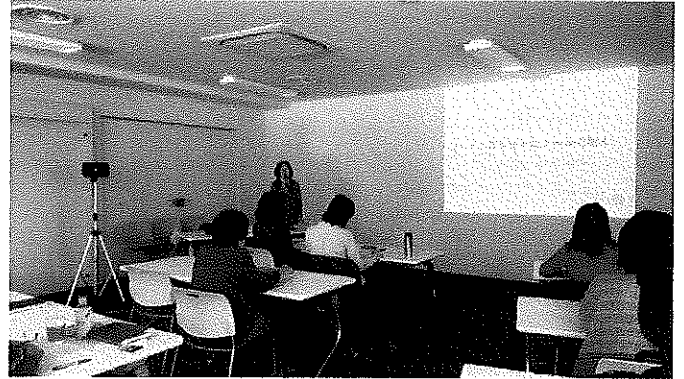
※チャイルドラインは18歳までの子どもが主体となってかける子ども専用電話です。全国40都道府県にある70団体のチャイルドラインで約1900人のボランティアが、年間19万件もの子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止める活動をしています。チャイルドラインは、「電話でつながる心の居場所」とも言えます。

2018年度チャイルドラインたちかわ
市民公開講座 記録写真

10月14日「思春期の子どもたちの心」
講師：山本 佳奈さん

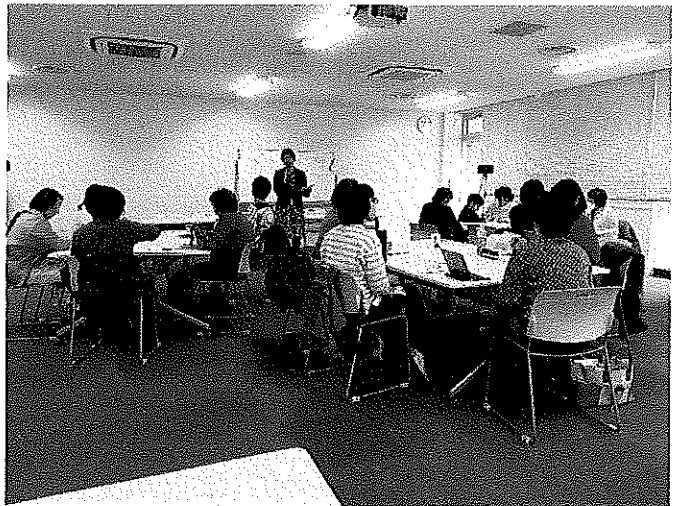


1月20日「子どもの声を様々なツールで聴く」
講師：水口 良子さん



3月10日「子どもともっと上手く関わりたい！
とされているあなたへ」

講師：安部 芳絵さん



11月11日「これって いじめ？」
講師：須永 祐慈さん



12月14日「地域コミュニティづくりと子ども」
講師：荒牧 重人さん

